

買受申出をされる方へ

本件（令和7年（ケ）第8号）は、

- ・ 物件 1 ～ 3
- ・ 物件 4, 5, 6, 9, 10
- ・ 物件 7, 8, 11

の3単位に分けて売却しております。

入札を申し込む際には、必ず物件番号を明記してください。物件番号の記載がない場合には、その入札の申し込みが無効となるおそれがあります。

- 暴力団員等
- 役員に暴力団員等がいる法人
- 暴力団員等から
資金の提供を受けた個人・法人

は、買受人になれません。
(民事執行法 71条5号)

入札の際、入札書ごとに
下記の各書面の提出が必要です。

暴力団員等に該当しない旨の**陳述書**（個人・法人を問わず）

- ※ 入札時に提出がない場合、入札は無効です（追完不可）。
- ※ 記載に不備があった場合、入札が無効となる場合があります。
※提出後の訂正はできません。

住民票

（個人の場合）

資格証明書

（法人の場合）

- ※ 入札時に提出がない場合、入札は無効です（追完不可）。
- ※ 住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、個人番号（マイナンバー）や住民票コードが記載されていないものを提出してください。
- ※ 入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

宅地建物取引業の免許証の写し

（宅地建物取引業者の場合）

- ※ 有効期限内のものを提出してください。
- ※ この写しを提出する場合でも、陳述書、住民票・資格証明書の提出は別に必要です。

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 11 月 6 日

奈良地方裁判所葛城支部執行係

裁判所書記官 三 倉 摩 依

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 11 月 27 日から 令和 7 年 12 月 4 日まで
開札期日	日 時 場 所 令和 7 年 12 月 11 日 午前 10 時 00 分 奈良地方裁判所葛城支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 8 年 1 月 8 日 午前 9 時 50 分 奈良地方裁判所葛城支部執行係
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 11 月 6 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
4～6, 9, 10	16,930,000 13,544,000	一括	3,386,000	431,861	88,634
4	280,000				
5	3,520,000				
6	3,500,000				
9	5,480,000				
10	4,150,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 4 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 2 8 6 番 5 |
| | 地 目 | 雑種地 |
| | 地 積 | 3 2 平方メートル |
| 5 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 3 0 4 番 1 |
| | 地 目 | 雑種地 |
| | 地 積 | 6 6 1 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 地 目 | 宅地 |
| 6 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 3 0 4 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 6 5 7 . 8 5 平方メートル |
| 9 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 3 0 4 番地 1 , 3 0 4 番地 3 |
| | 家屋 番号 | 3 0 4 番 1 |
| | 種 類 | 事務所・作業場・倉庫 |
| | 構 造 | 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根 3 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 3 5 6 . 1 8 平方メートル
2 階 4 6 6 . 5 3 平方メートル |



11

物 件 目 録

3 階 116.64 平方メートル

(現況)

床 面 積	1 階	約 442.88 平方メートル
	2 階	466.53 平方メートル
	3 階	116.64 平方メートル

10 所 在 奈良県大和高田市大字市場 304 番地 3

家屋 番号 304 番 3

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造コンクリート屋根 2 階建

床 面 積	1 階	210.72 平方メートル
	2 階	137.68 平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 車庫・倉庫

構 造 コンクリートブロック造陸屋根 2 階建

床 面 積	1 階	24.39 平方メートル
	2 階	24.39 平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 9月 1日

奈良地方裁判所葛城支部執行係

裁判所書記官 三 倉 摩 依

1 不動産の表示

【物件番号4～6, 9, 10】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号4～6, 9, 10】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号4】

本件所有者が占有している。

【物件番号9】

1階倉庫・事務所・作業場部分はレッグスタイル福西ことBが占有している。同人の賃借権は抵当権に後れる。ただし、代金納付日から6か月間明渡しが猶予される。

その余の部分は本件所有者が占有している。

【物件番号10】

Aが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 4 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 2 8 6 番 5 |
| | 地 目 | 雑種地 |
| | 地 積 | 3 2 平方メートル |
| 5 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 3 0 4 番 1 |
| | 地 目 | 雑種地 |
| | 地 積 | 6 6 1 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 地 目 | 宅地 |
| 6 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 番 | 3 0 4 番 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 6 5 7. 8 5 平方メートル |
| 9 | 所 在 | 奈良県大和高田市大字市場 3 0 4 番地 1, 3 0 4 番地 3 |
| | 家屋 番号 | 3 0 4 番 1 |
| | 種 類 | 事務所・作業場・倉庫 |
| | 構 造 | 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根 3 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 3 5 6. 1 8 平方メートル
2 階 4 6 6. 5 3 平方メートル |



物 件 目 録

3階 116.64平方メートル

(現況)

床面積	1階	約442.88平方メートル
	2階	466.53平方メートル
	3階	116.64平方メートル

10 所 在 奈良県大和高田市大字市場304番地3

家屋 番号 304番3

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造コンクリート屋根2階建

床面積	1階	210.72平方メートル
	2階	137.68平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 車庫・倉庫

構 造 コンクリートブロック造陸屋根2階建

床面積	1階	24.39平方メートル
	2階	24.39平方メートル



令和 7年(ケ)第8号
令和 7年 2月28日受理
令和 7年 6月25日提出

現況調査報告書(2)

奈良地方裁判所 葛城支部
執行官 中 澤 大 輔

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

4	所 在	奈良県大和高田市大字市場
	地 番	2 8 6 番 5
	地 目	雑種地
	地 積	3 2 平方メートル
5	所 在	奈良県大和高田市大字市場
	地 番	3 0 4 番 1
	地 目	雑種地
	地 積	6 6 1 平方メートル
6	所 在	奈良県大和高田市大字市場
	地 番	3 0 4 番 3
	地 目	宅地
	地 積	6 5 7 . 8 5 平方メートル
9	所 在	奈良県大和高田市大字市場 3 0 4 番地 1 , 3 0 4 番地 3
	家屋 番号	3 0 4 番 1
	種 類	事務所・作業場・倉庫
	構 造	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根 3 階建
	床 面 積	1 階 3 5 6 . 1 8 平方メートル 2 階 4 6 6 . 5 3 平方メートル 3 階 1 1 6 . 6 4 平方メートル

物 件 目 録

10 所 在 奈良県大和高田市大字市場304番地3

家屋 番号 304番3

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造コンクリート屋根2階建

床 面 積 1階 210.72平方メートル
2階 137.68平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 車庫・倉庫

構 造 コンクリートブロック造陸屋根2階建

床 面 積 1階 24.39平方メートル
2階 24.39平方メートル



(3 枚目)

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり					
住居表示	(住居表示未実施)					
土地	物件 5、6					
現況地目	☒ 宅地(物件 5、6) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ 雑種地(物件)					
形状	☐ 公図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ ☐ 地積測量図のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり					
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり					
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)					
その他の事項	「その他の事項」のとおり					
建物	物件 9					
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる(☒ 主である建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☒ 床面積: 1階 約442.88㎡ 2階 公簿のとおり 3階 公簿のとおり					
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:					
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を 事務所・作業場・倉庫 として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり					
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)					
その他の事項	「その他の事項」のとおり					
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日					
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり					

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件 6		
現況地目	☒ 宅地（物件 6） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ 雑種地（物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
建物	物件 10		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を 居宅・車庫・倉庫（空き家）として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(占有關係用〈单独〉)

占有者及び占有権原 (物件 9 関係)

占有範囲	□全部 ■1階倉庫・事務所・作業場部分					
占有者	□債務者 ■レッグスタイル福西ことB					
占有状況	□敷地 □駐車場 □ □居宅 ■事務所 □店舗 ■倉庫 ■作業場					
■関係人(■レッグスタイル福西従業員(占有者) ■A(債務者兼所有者会社代表者))の陳述／■提示文書(賃貸契約書)の要旨						
占有権原	■賃借権 □使用借権 □					
占有開始時期	2020年 4月 1日					
最初の契約等	契約日	2020年 3月31日				
契約等	期間	年 月 日から □ 年 月 日まで 年間 ■期間の定めなし				
更新の種類別	□合意更新 □自動更新 □法定更新					
現在の契約等	期間	年 月 日から □ 年 月 日まで 年間 □期間の定めなし				
契約等	貸主	■所有者 □その他の者 ()				
当事者	借主	■占有者 □その他の者 ()				
賃料・支払時期等	毎月 金73,000円(毎月末日限り 翌月分支払) (但し、大和高田市大字市場305番地3、307番地2家屋番号305番3の建物の1階部分との合計額) □前払 (分 円) □相殺 (分 円)					
敷金・保証金	■ない □ある(□敷金 円 □保証金 円)					
特約等	□譲渡・転貸を認める □					
その他	「その他の事項」のとおり					
執行官の意見	■上記のとおり □下記のとおり □「執行官の意見」のとおり					

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 10 関係)			
占有範囲		■全部 □	
占有者		□債務者 ■債務者兼所有者会社代表者A	
占有状況		□敷地 □駐車場 □ ■居宅 □事務所 □店舗 ■倉庫 ■車庫	
■関係人(■債務者兼所有者会社代表者A(占有者) □ ()の陳述/□提示文書 ()の要旨			
占有権原		□賃借権 ■使用借権 □	
占有開始時期		平成29年 6月19日	
最初の契約等	契約日	年 月 日	
	期間	年 月 日から □ 年 月 日まで 年間 □期間の定めなし	
更新の種類別		□合意更新 □自動更新 □法定更新	
現在の契約等	期間	年 月 日から □ 年 月 日まで 年間 □期間の定めなし	
	貸主	■所有者 □その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 □その他の者 ()	
	賃料・支払時期等	毎 金 円 (毎 限り 分支払) □前払 (分 円) □相殺 (分 円)	
敷金・保証金		□ない □ある (□敷金 円 □保証金 円)	
特約等		□譲渡・転貸を認める □	
その他		「その他の事項」のとおり	
執行官の意見		■上記のとおり □下記のとおり □「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(7 枚目)

そ の 他 の 事 項

■ 本件物件の現況等

1 表札・看板等の表示

物件 9	看板の表示	サンリッチ株式会社（債務者兼所有者会社）
	郵便受けの表示	なし
物件 10	表札の表示	占有者 A の姓
	郵便受けの表示	なし

2 本件土地の現況等

(1) 物件 4 の土地は、物件 5 の土地と一体となって柵に囲まれているが、本件建物の敷地ではなく雑種地であると認められる。また、物件 5、6 の土地は物件 9 の建物の敷地として、物件 6 の土地は物件 10 の建物の敷地として利用されており（別紙土地建物位置関係図及び別紙添付写真①参照）、物件 5、6 の土地は相互に自由に往来することができる。なお、物件 5 の土地の登記上の地目は雑種地であるが、現況は物件 9 の建物の敷地であるため、宅地と認められる。

(2) 隣接する土地との境界並びに本件土地相互間の境界を表すと考えられる徴表は、確認できなかった。

また、立ち入り調査時に、公図、地番図等を参考にして現地の各辺長を概測した結果、その形状は概ね土地建物位置関係図表示のとおりであり、地積についても概ね公簿どおりであると推定されたが、正確な地積等は隣接土地所有者等の立ち会いのもと、専門家による計測を要する。

(3) 隣接する土地との高低差はなく、概ね等高に接続している。

3 本件建物の現況等

(1) 物件 9 について

①本件建物の位置は、別紙土地建物位置関係図のとおり、建物内の状況及び間取り等は、別紙間取図及び別紙添付の写真に撮影したとおりである。

②1 階西側（種類：倉庫、床面積：約 5.5 m²）及び南側（種類：事務所・作業場、床面積：約 81.2 m²）に未登記増築部分が存する（別紙添付写真⑨、⑪、⑫参照）。

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

- ③本件建物は、内外部ともに全体的に経年相当の劣化が認められるが、北側部分の3階は著しい劣化が認められる。
- ④本件建物の南側の外壁に損傷箇所が存する。
- ⑤1階玄関の内壁にクラックが存する。
- ⑥2階北側部分の廊下及び階段のクロスに剥離箇所が存する（別紙添付写真⑥参照）。
- ⑦3階の天井の随所に雨漏りにより破損している箇所が存する（別紙添付写真⑧参照）。
- ⑧1階南側中央倉庫の内壁にクラックが存する。
- ⑨1階南側倉庫のPタイルに剥がれが存する。
- ⑩2階南側中央倉庫並びに2階南東側倉庫の天井に雨漏りが原因と思料される損傷箇所が存する（別紙添付写真⑩参照）。
- ⑪2階南側脱衣室の天井に穴が存する。

(2) 物件10について

- ①本件建物の位置は、別紙土地建物位置関係図のとおり、建物内の状況及び間取り等は、別紙間取図及び別紙添付の写真に撮影したとおりである。
- ②本件建物は、内外部ともに全体的に経年相当の劣化が認められる。
- ③1階縁側の天井及び床にシミが存する。
- ④1階縁側の天井に雨漏りが原因と思料される損壊箇所が存する（別紙添付写真⑭参照）。
- ⑤2階和室の天井にシミが存する。
- ⑥2階南東側洋室の天井に雨漏りが原因と思料される損傷箇所が存する（別紙添付写真⑰参照）。

4 接面道路

- (1) 物件4ないし6の土地は、北側が市道に接面している。その幅員を概測したところ、約4.4mであった（別紙土地建物位置関係図参照）。
- (2) 評価人からは、上記接面道路は建築基準法第42条第1項第1号の道路である旨の報告を得ているが、詳細については評価人作成にかかる評価書を参照されたい。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■ 債務者兼所有者会社代表者 A	■ 1 物件 9 の建物の 1 階の倉庫・事務所・作業場部分を賃貸していますが、賃料は大和高田市大字市場 3 0 5 番地 3、3 0 7 番地 2 家屋番号 3 0 5 番 3 の建物の 1 階部分との合計額です。賃料の支払は、毎月末日限り翌月分払いです。滞納はありません。賃借人は靴下を中心にアパレル関係の事業をしています。 2 物件 9 の建物の 1 階にあるリフトは故障していて動きません。 3 知り合いの業者の話によると、物件 9 の建物にはアスベストが使用されているとのこと。 4 物件 1 0 の建物には、1 週間に 1 度程度立ち寄ります。 5 物件 1 0 の建物は、元々私の父が建築した建物であるため、私は建築当初から居住していました。その後以前所有者に所有権が移転してからは、前所有者に対しては賃料を支払っていましたが、債務者兼所有者会社が所有権を取得して以後は会社に対して賃料は支払っていません。
■ 賃借人従業員	■ 本件建物の 1 階部分を、大和高田市大字市場 3 0 5 番地 3、3 0 7 番地 2 家屋番号 3 0 5 番 3 の建物の 1 階部分とともに賃借しています。

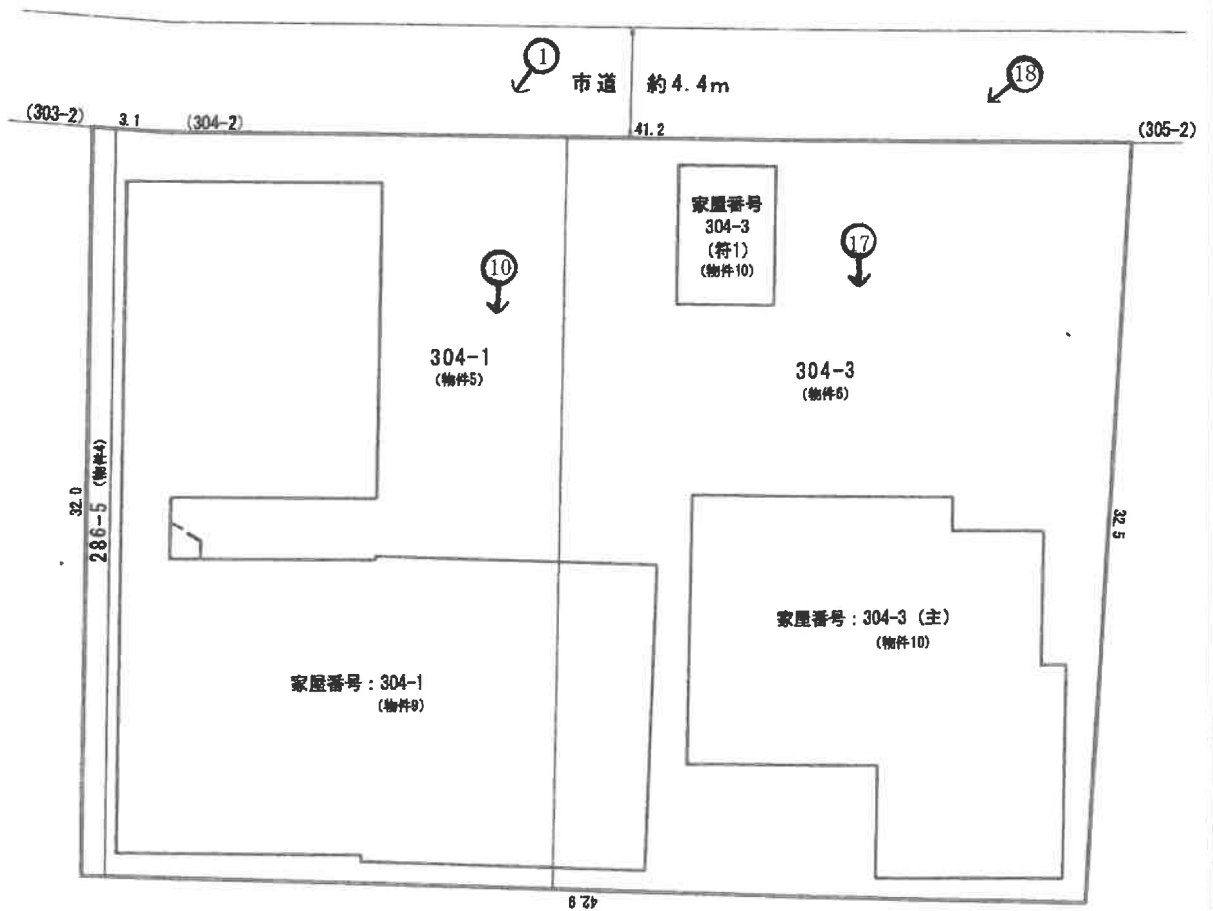
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年 3月18日 15：20－15：25	奈良地方法務局葛城支局	全部事項証明書、公図、地積測量図、建物図面調査
7年 3月24日 15：50－15：55	物件所在地	物件及び占有確認、全戸不在、写真撮影 照会文書投函
7年 3月26日 14：15－14：20	大和高田市役所	土地・建物関係資料調査
7年 3月28日 16：25－16：35	物件所在地	物件及び占有確認、賃借人従業員と面談
7年 3月28日	執行官室	債務者兼所有者会社に照会文書送付
7年 5月27日 9：55－11：40	物件所在地	立入現況調査、評価人帯同、写真撮影 債務者兼所有者会社代表者 A と面談
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

所在 大和高田市大字市場286-5, 304-1, 304-3



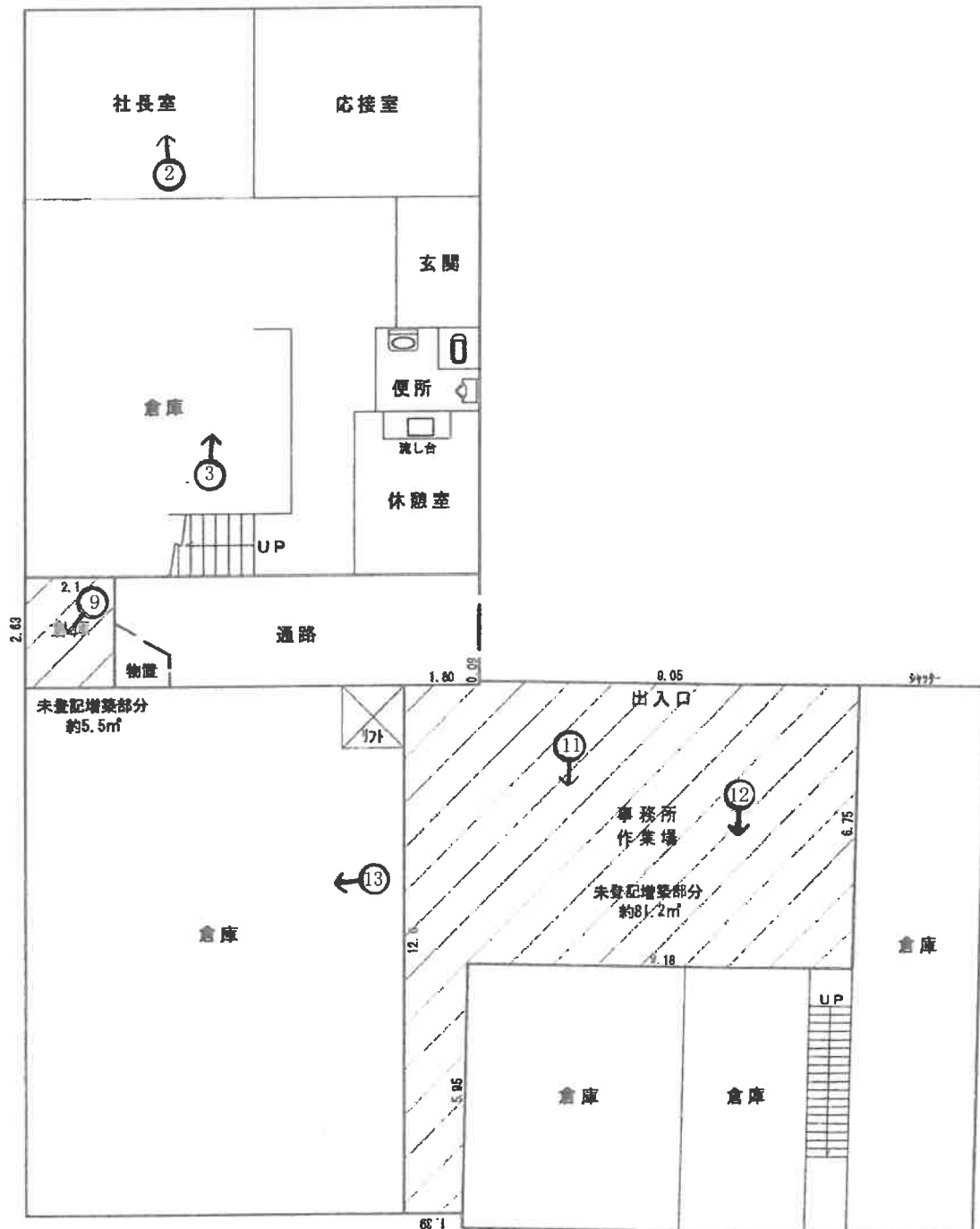
(○写真撮影場所・方向)

※本図面は明示や立会に基づくものではなく、概測によるため専門家による実測とは異なる可能性があります。

間 取 図

家屋番号：304-1

1 階



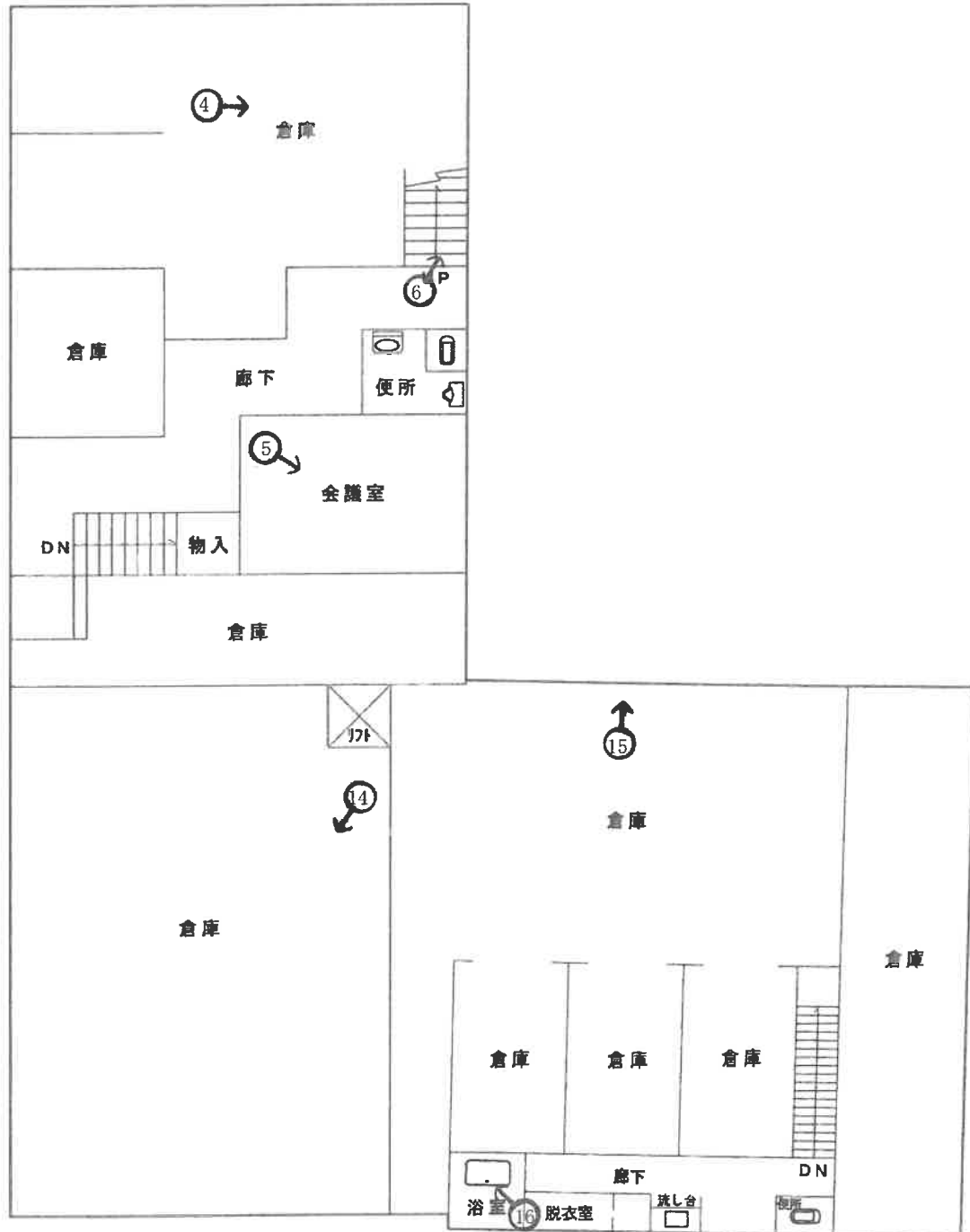
(○写真撮影場所・方向)

※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-1

2 階



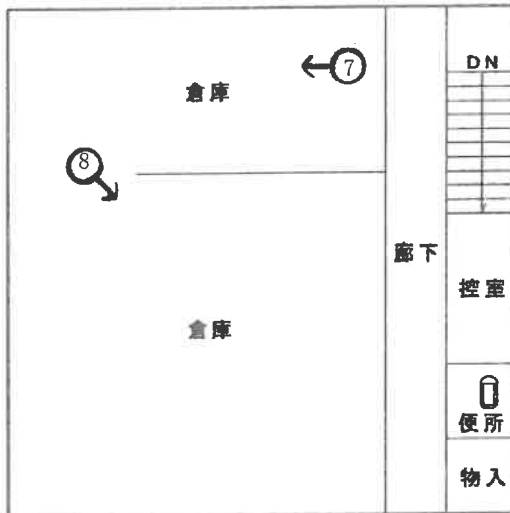
(お写真撮影場所・方向)

※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-1

3 階



(お写真撮影場所・方向)

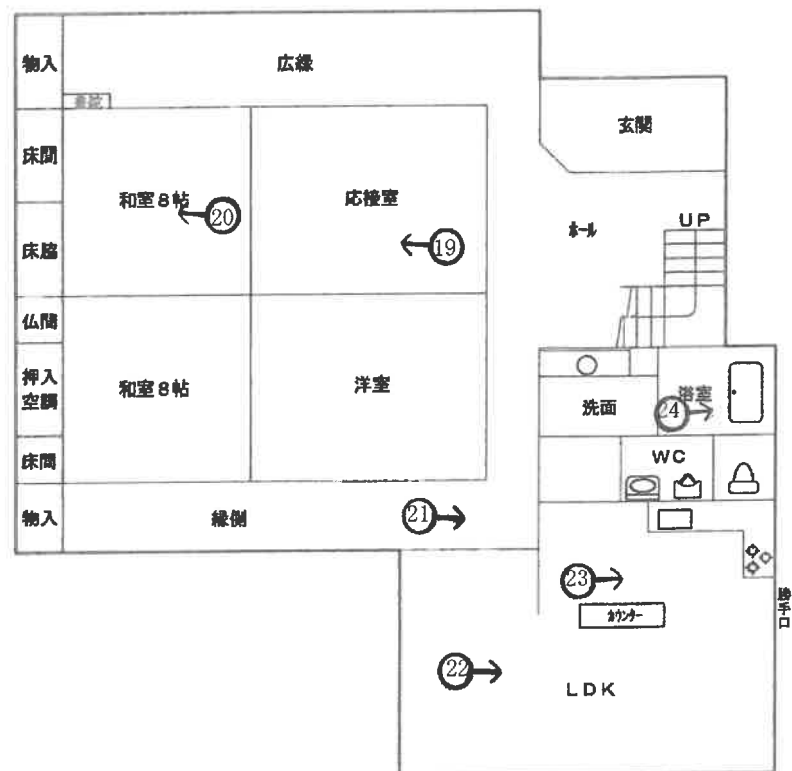
※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-3

主である建物

1 階



(○写真撮影場所・方向)

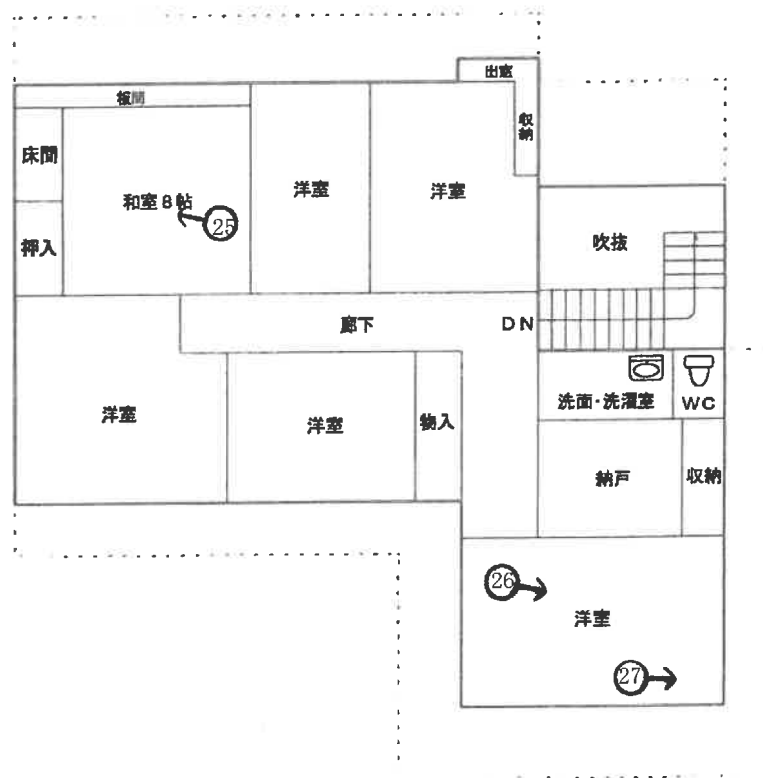
※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-3

主である建物

2 階



(写真撮影場所・方向)

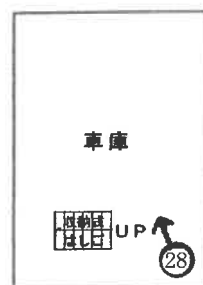
※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

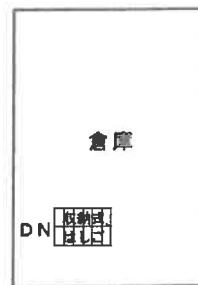
家屋番号：304-3

附属建物 符号1

1 階



2 階



(写真撮影場所・方向)

※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

①



②



③



④



⑤



⑥
(2階北側階段 クロス剥離箇所)



⑦



⑧
(3階天井 破損箇所)



⑨ (1階西側倉庫
未登記増築部分)



⑩



⑪
(未登記増築部分 事務所・作業場)



⑫
(未登記増築部分 事務所・作業場)



⑬



⑭



⑮
(2階南側中央倉庫 天井損傷箇所)



⑯



⑪



⑫



⑪



⑫



②①
(1階縁側 天井損傷箇所)



②②



23



24



②5



②6



②⑦
(2階南東側洋室 天井損傷箇所)



②⑧



令和7年(ケ)第8号
物件4、5、6、9、10
令和7年5月27日 現地調査
令和7年6月12日 評価

奈良地方裁判所 葛城支部御中

評 価 書
(土地付建物)

評価人 不動産鑑定士

中本 欽也

第1 評価額

一 括 価 格	
金16,930,000円	
内 訳 価 格	
物 件 4	280,000円
物 件 5	3,520,000円
物 件 6	3,500,000円
物 件 9	5,480,000円
物 件 10	4,150,000円

- 1 一括価格は、物件4、5、6、9、10の各不動産について、一括売却（民事執行法第61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件5の内訳価格は、物件9のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件6の内訳価格は、物件9、10のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件9、10の価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

区 分	所 在 等	登 記 上	現 況
物件4、5 物件6 土 地	所 在 地 番 地 目 地 積	物件目録に記載のとおり	第3特記事項及び第4目的 物件の位置・環境等参照
物件9、10 建 物	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	同上	同上
特 記 事 項			
本評価書記載事項は、宅地建物取引業法に基づく「重要事項説明」ではない。買い受けに当たっては、利用目的等により必要な個別事項については、所轄行政庁に十分調査確認のこと。			
物件9	看板の表示 サンリッチ株式会社（債務者兼所有者会社） 郵便受けの表示 なし		
物件10	表札の表示 占有者Aの姓 郵便受けの表示 なし		
物件4の土地は、物件5の土地と一体となって柵に囲まれているが、本件建物の敷地でなく雑種地であると認められる。 また、物件5、6の土地は物件9の建物の敷地として、物件6の土地は物件10の建物の敷地として利用されており、物件5、6の土地は相互に自由に往来することができる。 なお、物件5の土地の登記上の地目は雑種地であるが、現況は物件9の建物の敷地であるため、宅地と認められる。			
隣接する土地との境界並びに本件土地相互間の境界を表すと考えられる徴表は、確認できなかった。また、立ち入り調査時に、公図、地番図等を参考にして現地の各辺長を概測した結果、その形状は概ね土地建物位置関係図表示のとおりであり、地積についても概ね公簿どおりであると推定されたが、正確な地積等は隣接土地所有者等の立ち会いのもと、専門家による計測を要する。			
物件9建物			
床面積 1階 約442.88㎡（未登記増築部分 約86.7㎡）			
2階 466.53㎡（公簿のとおり）			
3階 116.64㎡（公簿のとおり）			
計 約1,026.05㎡			

特 記 事 項
物件9の建物について 南側の外壁に損傷箇所が存する。 1階玄関の内壁にクラックが存する。 2階北側部分の廊下及び階段のクロスに剥離箇所が存する。 3階部分の天井の随所に雨漏りにより激しく損傷している箇所が存する。 1階南側中央の倉庫の内壁にクラックが存する。 1階南側倉庫のPタイルに剥がれが存する。 2階南側中央の倉庫並びに2階南東側の倉庫の天井に雨漏りが原因と思料される損傷箇所が存する。 2階南側の脱衣室の天井に穴が存する。
物件10の建物について 1階縁側の天井及び床にシミが存する。 1階縁側の天井に雨漏りが原因と思料される損傷箇所が存する。 2階和室の天井にシミが存する。 2階南東側洋室の天井に雨漏りが原因と思料される損傷箇所が存する。
占有者及び占有権原(物件9関係) 占有範囲:1階倉庫・事務所・作業場部分 占有者:レッグスタイル福西ことB 占有状況:倉庫・事務所・作業場 占有権原:賃借権 占有開始時期:2020年4月1日 最初の契約日:2020年3月31日 期間の定め無し 契約当事者:貸主(所有者)、借主(占有者) 賃料:金73,000円(大和高田市大字市場305番地3、307番地2、家屋番号305番3の建物の1階部分との合計額) 敷金・保証金:ない
占有者及び占有権原(物件10関係) 占有範囲:全部 占有者:債務者兼所有者会社代表者A 占有状況:居宅・車庫・倉庫 占有権原:使用借権 占有開始時期:平成29年6月19日 契約当事者:貸主(所有者)、借主(占有者)
物件9及び物件10:建築計画概要書(高田土木事務所にて確認) 建築確認無し

第4 目的物件の位置・環境等

1. 対象土地の概況及び利用状況等(物件4、5、6)

位置・交通	近鉄南大阪線「尺土駅」北東方 約1,480m(道路距離) (別添位置図参照)	
付近の状況	地域の特性 環境条件 将来動向	一般住宅のほかJAや事業所、倉庫なども見られる地域 本件土地の南東側に墓地が存在する。 今後も現状を維持しつつ推移するものと思料する。
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 指定建ぺい率 指定容積率 防火規制 その他規制	市街化区域 第1種住居地域 60% 200% 無指定 15m高度地区、日影規制(4m平面4-2.5時間) 奈良県景観計画区域(一般区域) 居住誘導区域、宅地造成工事規制区域
画地条件	地積 間口・奥行 画地形状 道路接面 高低差	1350.85㎡(公簿面積) 北側間口約44.3m、奥行約32m 略長方形地 北側の道路に接面(中間画地) 概ね等高
接面道路	幅員・種別 建築基準法	北側:幅員約4.4m舗装市道(陵62号線) 北側:建築基準法42条第1項第1号道路
土地の利用状況及び隣地の状況	利用状況 隣地の状況	事務所・作業場・倉庫、居宅の敷地 一般住宅、倉庫、作業場、田、畑、墓地等
供給処理施設	上水道 都市ガス 公共下水	有り 本管有り 本管有り
土壌汚染等	閉鎖登記簿謄本によると「田、雑種地、宅地」等として土地は利用されていた模様である。過去の住宅地図(昭和58年)では、「旭繊維株式会社の敷地」の記載がある。土壌汚染対策法に言う「要措置区域、形質変更時要届出区域」の指定もなく、水質汚濁防止法の「特定事業場」の届出もない。しかし、汚染の有無は不明であり、専門調査機関による土壌汚染調査を行わないと確定できない。買受希望者は所轄の奈良県生活環境部環境政策課等において前記の詳細な内容等について事前に確認し、了解しておくべき旨留意する必要がある。	
特記事項	北側の下水道の本管は約2.3mの深さに有り、引込みが出来ない可能性が高い。 上水道は、東側に隣接する同じ所有者の305番3、307番2の不動産と同じ水道メーターを利用している可能性が高く、将来的に305番3、307番2の不動産の落札者から水道メーターなどに関する工事について話し合いを求められる可能性があると思われる。	

2. 建物の概況及び利用状況 (物件9)

区 分	主である建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日	昭和48年11月25日新築
	経 済 的 全 耐 用 年 数	約35年
	経 過 年 数	約52年
	経済的残存耐用年数	約0年
仕 様	構 造	鉄骨造
	屋 根	亜鉛メッキ鋼板
	外 壁	タイル、モルタル塗り等
	内 壁	クロス、ベニヤ板、タイル、コンクリート等
	天 井	石膏ボード、板張り等
	床	カーペット、タイル、Pタイル等
	設 備	電気設備等
	そ の 他	リフト（故障して動かない。）
床面積	（ 現 況 数 量 ）	約1,026.05㎡
現況用途等	階 層	3階建
	現 況 用 途	事務所・作業場・倉庫
	間 取 り	1階：社長室+応接室+休憩室+倉庫6+事務所・作業場+物置+便所 2階：倉庫9+会議室+脱衣室+浴室+便所 3階：倉庫2+控室+便所+物入
品等	普通	
保守管理の状態	劣る	
建物の利用状況	建物所有者及び占有者が本建物を事務所・作業場・倉庫として使用している。	
特記事項	「特記事項」 ・ 本件建物は、内外部ともに全体的に経年相当の劣化が認められるが、北側部分の3階は著しい劣化が認められる。 ・ 昭和58年12月10日変更、増築、附属建物合棟 ・ 1階西側（種類：倉庫、床面積：約5.5㎡）及び南側（種類：事務所・作業場、床面積：約81.2㎡）に未登記増築部分が存する。 「アスベスト」 ・ アスベスト等の建物の有害物質の使用の有無及びその程度についての判定は、目視観察からは不明であり、専門調査機関による調査を行わないと確定できないが、債務者兼所有者会社代表者Aの陳述では、物件9については、アスベストが使用されている可能性が高い。よって、建物解体等を行う場合は、アスベスト等の有無が建物解体費用に大きな影響を与えることを、買受希望者は特に留意する必要がある。 「耐震性」 ・ 1981年以前に建築されており、新耐震基準以前の建物である。 ・ 耐震性は、設計、施工、地盤等に依存するが、評価時点で耐震性の是非を示す客観的、技術資料が入手できなかった。よって、評価上、耐震性については非考慮を前提としている旨、買受希望者は特に留意する必要がある。	

(物件10)

区 分	主である建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日	昭和60年1月1日新築
	経済的全耐用年数	約40年
	経 過 年 数	約41年
	経済的残存耐用年数	約0年
仕 様	構 造	鉄筋コンクリート造
	屋 根	コンクリート屋根
	外 壁	コンクリート、タイル、モルタル塗り等
	内 壁	石材、タイル、クロス、土壁等
	天 井	ベニヤ板、クロス等
	床	畳、フローリング、カーペット等
	設 備	給水設備、電気設備
	そ の 他	特になし
床面積	(登 記 数 量)	348.40㎡
現況用途等	階 層	2階建
	現 況 用 途	居宅・倉庫
	間 取 り	1階：和室2、洋室1、応接室1、LDK、洗面、浴室等 2階：和室1、洋室5、納戸、洗面、便所
品等	優る	
保守管理の状態	劣る	
建物の利用状況	建物占有者が本建物を居宅・倉庫（空き家）として使用している。	
特記事項	「特記事項」 ・本件建物は、内外部ともに全体的に経年相当の劣化が認められる。 ・設備の稼働や、床下の白蟻については未確認である。 「アスベスト」 ・アスベスト等の建物の有害物質の使用の有無及びその程度についての判定は、目視観察からは不明であり、専門調査機関による調査を行わないと確定できない。よって、評価上、アスベスト等については非考慮を前提としている旨、買受希望者は特に留意する必要がある。 「耐震性」 ・1981年以後に建築されており、新耐震基準以降の建物である。 ・耐震性は、設計、施工、地盤等に依存するが、評価時点で耐震性の是非を示す客観的、技術資料が入手できなかった。よって、評価上、耐震性については非考慮を前提としている旨、買受希望者は特に留意する必要がある。	

(物件10)

区 分	附属建物符号1	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日	昭和60年1月1日新築
	経済的全耐用年数	約40年
	経 過 年 数	約41年
	経済的残存耐用年数	約0年
仕 様	構 造	コンクリートブロック造
	屋 根	コンクリートブロック
	外 壁	コンクリートブロック
	内 壁	コンクリート等
	天 井	コンクリートブロック
	床	コンクリート等
	設 備	電気設備
	そ の 他	収納式のはしご
床面積	(登 記 数 量)	48.78㎡
現況用途等	階 層	2階建
	現 況 用 途	車庫・倉庫
	間 取 り	1階：車庫、2階：倉庫
品等	普通	
保守管理の状態	普通	
建物の利用状況	建物占有者が本建物を車庫・倉庫（空き家）として使用している。	
特記事項	「特記事項」 ・本件建物は、内外部ともに全体的に経年相当の劣化が認められる。 「アスベスト」 ・アスベスト等の建物の有害物質の使用の有無及びその程度についての判定は、目視観察からは不明であり、専門調査機関による調査を行わないと確定できない。よって、評価上、アスベスト等については非考慮を前提としている旨、買受希望者は特に留意する必要がある。 「耐震性」 ・1981年以後に建築されており、新耐震基準以降の建物である。 ・耐震性は、設計、施工、地盤等に依存するが、評価時点で耐震性の是非を示す客観的、技術資料が入手できなかった。よって、評価上、耐震性については非考慮を前提としている旨、買受希望者は特に留意する必要がある。	

第5 評価額の算出の過程

1. 基礎となる価格

①土地価格

更地価格を算出し、これに必要に応じ、建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 補正率 エ	建付地価格 千円未満四捨五入(円) ア×イ×ウ×エ=オ
物件4	38,600	0.67	32.00	0.70	579,000
物件5	38,600	0.67	661.00	0.70	11,966,000
物件6	38,600	0.67	657.85	0.70	11,909,000
計			1,350.85		24,454,000

ア 標準画地価格の査定(公示価格等からの規準)

地価公示 大和高田-6 時点修正 標準化補正 地域格差

$$54,500 \text{ 円/㎡} \times 99.8 / 100 \times 100 / 102 \times 100 / 138 \div 38,600 \text{ 円/㎡}$$

時点修正 公示価格の価格時点から評価時点までの変動率

◇ 標準化補正 1.02 方位1.02

◇ 地域格差 街路条件 接近条件 環境条件 行政条件 格差率
 $100/101 \times 100 / 99 \times 100 / 138 \times 100 / 100 \div 100 / 138$

イ 個別格差 0.67 規模0.70、墓地隣接0.98、上水道の状況0.99
 下水道引込み困難0.98

ウ 地積 1,350.85 ㎡ 登記数量による。

エ 建付減価補正率 0.70 建物と敷地との適応性、建物と環境との適合性

②建物価格

当該建物の再調達原価を、現在の建物建築費の推移動向も考慮した上、標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法並びに観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 千円未満四捨五入(円) ア×イ×ウ=エ
物件9 主建物	180,000	1,026.05	0.03	5,541,000

ア 再調達原価 標準的な建物の再調達原価の資料を基に対象建物の個性性も考慮

イ 現況延床面積 現況面積を採用

ウ 現価率 経済的全耐用年数35年、経過年数52年、経済的残存耐用年数0年
 観察減価率△40%、残価率5%、耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して建物の現価率を査定した。

$$\text{現価率} = \{ \text{残価率} 5\% + (100\% - 5\%) \times (\text{経済的残存耐用年数} 0 \text{ 年} / \text{経済的全耐用年数} 35 \text{ 年}) \} \times (100\% - \text{観察減価率} 40\%) \div 0.03$$

観察減価率は、建物の劣化、市場性を考慮し△40%と査定

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 千円未満四捨五入(円) ア×イ×ウ＝エ
物件10 主建物	300,000	348.40	0.04	4,181,000

ア 再調達原価

標準的な建物の再調達原価の資料を基に対象建物の個別性も考慮

イ 現況延床面積

公簿面積を採用

ウ 現価率

経済的全残存耐用年数40年、経過年数41年、経済的残存耐用年数0年
観察減価率△20%、残価率5%、耐用年数に基づく方法及び観察減価
法を併用して建物の現価率を査定した。

現価率＝{残価率5%＋(100%－5%)×(経済的残存耐用年数0年/経済
的全耐用年数40年)}×(100%－観察減価率20%)÷0.04

観察減価率は、建物の劣化、市場性を考慮し△20%と査定

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 千円未満四捨五入(円) ア×イ×ウ＝エ
物件10 附属符号1	160,000	48.78	0.05	390,000

ア 再調達原価

標準的な建物の再調達原価の資料を基に対象建物の個別性も考慮

イ 現況延床面積

公簿面積を採用

ウ 現価率

経済的全残存耐用年数40年、経過年数41年、経済的残存耐用年数0年
観察減価率△10%、残価率5%、耐用年数に基づく方法及び観察減価
法を併用して建物の現価率を査定した。

現価率＝{残価率5%＋(100%－5%)×(経済的残存耐用年数0年/経済
的全耐用年数40年)}×(100%－観察減価率10%)÷0.05

観察減価率は、建物の劣化、市場性を考慮し△10%と査定

2. 評価額の決定

前記により求めた価格に、土地については敷地利用権価格を控除し、建物については敷地利用権価格を加算し、必要に応じて占有減価、市場性修正を行い、かつ、競売市場修正を施して、下記の通り評価額を求めた。

①敷地利用権価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	敷地利用権割合 イ	敷地利用権価格 千円未満四捨五入(円) ア×イ＝ウ
物件5	11,966,000	0.4 法定地上権	4,786,000
物件6	11,909,000	0.4 法定地上権	4,764,000
計	23,875,000		9,550,000

ア 建付地価格 前記P9 1・①・オの価格

イ 敷地利用権割合 土地建物の個別処分に際しては、法定地上権が成立するものと判断されるので、地域性、建物の状況等を考慮して上記の通り査定

②内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円) ア	敷地利用権価格 の控除及び加算 イ	占有 減価率 ウ	市場性 修正率 エ	競売市場 修正率 オ	評価額 万円未満四捨五入(円) (ア+イ)×ウ×エ×オ
物件4	579,000	0	1.0	0.7	0.7	280,000
物件5	11,966,000	-4,786,000	1.0	0.7	0.7	3,520,000
物件6	11,909,000	-4,764,000	1.0	0.7	0.7	3,500,000
物件9	5,541,000	+5,644,000	1.0	0.7	0.7	5,480,000
物件10	4,571,000	+3,906,000	1.0	0.7	0.7	4,150,000
一括価格(合計)						16,930,000

ア 基礎となる価格 土地：前記P9 1・①・オの価格
建物：前記P9～P10 1・②・エの価格

イ 敷地利用権価格 上記P11 2・①・ウの価格

なお、物件9建物については、物件6に敷地の一部がかかっている
ので、物件6の敷地利用権価格のうち、建築面積割合18% (53㎡÷
(53㎡+235.11㎡)) の分を物件9建物に配分した。

ウ 占有減価率 賃借権が引き受けの対象とならないことから、占有減価を行わなかった。

エ 市場性修正率 居宅の品等は優れているが、事務所・作業場・倉庫付きの敷地に対する市場性、物件9のアスベストの可能性等も考慮し、市場性修正率を0.7とした。

オ 競売市場修正率 不動産競売手続きには一定の手続き上の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者が事前に物件に立ち入ることができない場合があること、情報提供期間が短いこと等)が不可避免的に伴うこと、本評価が競争入札を前提とする売却基準価格の算出を目的としていること等を考慮し、競売市場修正率として0.7を乗じた。

第6 参考価格資料

1. 地価公示 大和高田-6

所 在 : 奈良県大和高田市大字池田541番
価 格 : 54,500円/㎡
位 置 : JR和歌山線 高田駅 西方 約1,300m(道路距離)
価 格 時 点 : 令和7年1月1日
地 積 : 401㎡
供給処理施設 : 水道、都市ガス
接 面 街 路 : 東 5.0m 市道
用 途 指 定 等 : 第一種住居地域(建ぺい率60%, 容積率200%)
地 域 の 概 要 : 住宅のほか営業所等があり、農地も残る住宅地域

2. 固定資産税評価額(令和7年度)

物 件 4	:	790,619円
物 件 5	:	16,331,224円
物 件 6	:	16,253,397円
物 件 9	:	2,667,884円
物 件 10	:	11,549,966円
計		47,593,090円

第7 添付資料

1. 受命物件の位置図 (スーパーマッフル・デジタル16電子地図、昭文社)
2. 付近見取図 (デジタウン電子地図、株式会社ゼンリン)
3. 公図写(A3→A4に縮小)
4. 地積測量図写(A3→A4に縮小)
5. 土地建物位置関係図
6. 建物図面・各階平面図写(A3→A4に縮小)
7. 建物間取図

以上

物 件 目 録

- | | | | |
|---|---|---|--------------------|
| 4 | 所 | 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 | 番 | 2 8 6 番 5 |
| | 地 | 目 | 雑種地 |
| | 地 | 積 | 3 2 平方メートル |
| 5 | 所 | 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 | 番 | 3 0 4 番 1 |
| | 地 | 目 | 雑種地 |
| | 地 | 積 | 6 6 1 平方メートル |
| 6 | 所 | 在 | 奈良県大和高田市大字市場 |
| | 地 | 番 | 3 0 4 番 3 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 6 5 7 . 8 5 平方メートル |



物 件 目 録

9 所 在 奈良県大和高田市大字市場304番地1, 304番地3

家屋 番号 304番1

種 類 事務所・作業場・倉庫

構 造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根3階建

床 面 積 1階 356.18平方メートル
2階 466.53平方メートル
3階 116.64平方メートル

10 所 在 奈良県大和高田市大字市場304番地3

家屋 番号 304番3

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造コンクリート屋根2階建

床 面 積 1階 210.72平方メートル
2階 137.68平方メートル

(附属建物)

符 号 1

種 類 車庫・倉庫

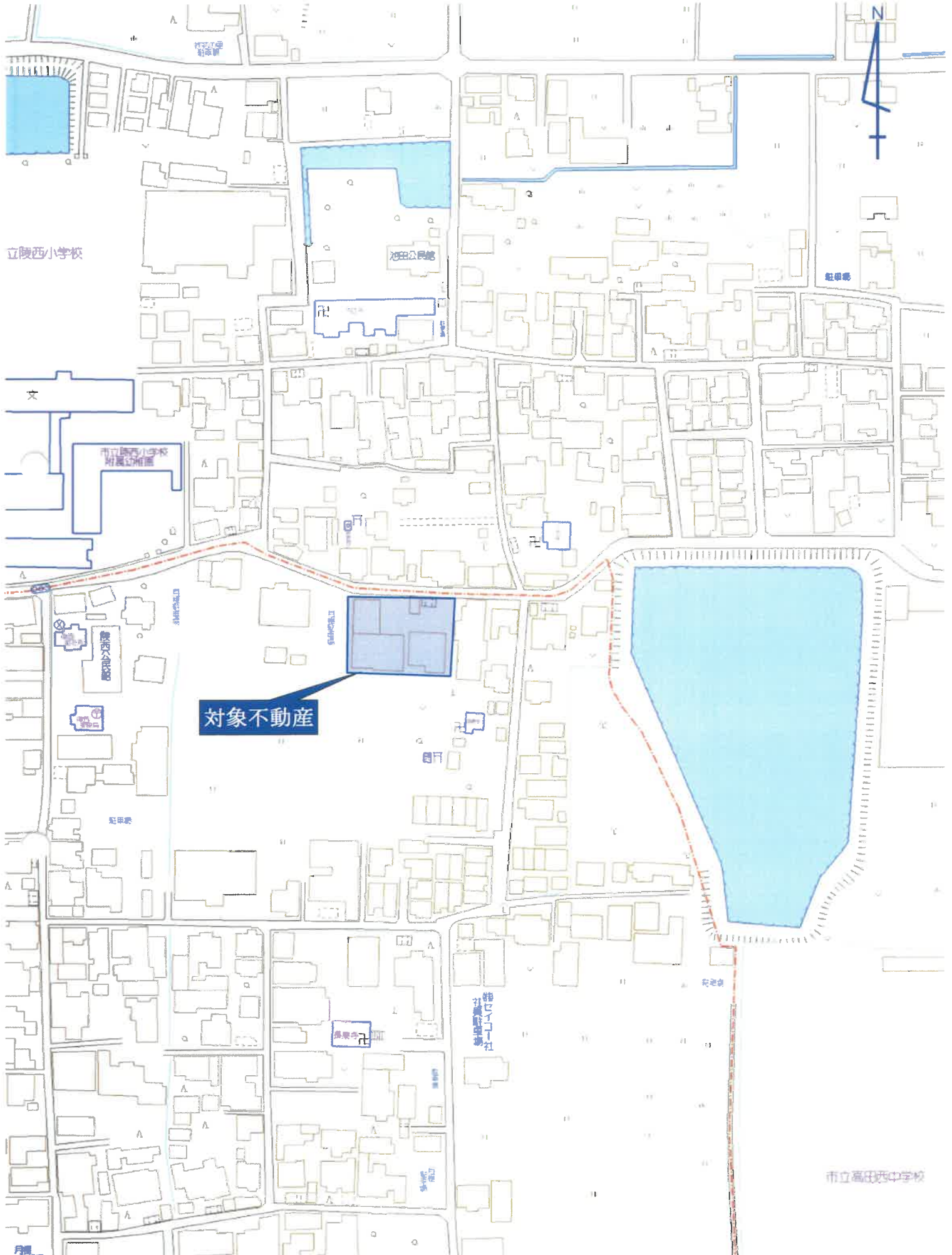
構 造 コンクリートブロック造陸屋根2階建

床 面 積 1階 24.39平方メートル
2階 24.39平方メートル



22





1 311-22 2 311-25 3 259-2 4 260-3 5 264-4 6 279-4
 7 311-24 8 311-26 9 259-3 10 264-3 11 279-3 12 つづく



対象不動産



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出し

大字市場

請求部	所在	奈良県大和高田市大字市場				地番	304番3			
出力縮尺	縮尺不明	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月30日

奈良地方務局葛城支局

請求番号：18-2

登記官

(1/2)

公用

296-10
 296-11
 296-14
 296-15
 296-16
 296-17
 296-18
 296-20
 296-21
 296-22
 296-24
 296-28
 296-3
 296-4
 296-9
 308-2
 309-8
 311-1
 311-11
 311-12
 311-19
 311-2
 311-4
 360-2
 265-2
 272-4
 269-2
 274-4
 843-1
 843-2
 (212-1・212-2)
 188-13
 188-14
 188-15
 188-3
 188-7
 206
 223-2
 235-3
 245-3
 245-4
 245-6
 245-7
 245-8
 245-9
 255-3
 255-6
 296-12
 296-19
 296-2
 296-23
 296-25
 296-26
 296-27
 296-29
 296-30
 296-5
 296-6
 296-8
 297-10
 297-11
 297-5
 297-6
 297-7
 297-9
 311-13
 311-14
 311-16
 311-17
 311-18
 311-21
 311-23
 317-2
 318-2
 345-2
 358-2
 254-2
 292-7
 (354-1・354-2・354-3)
 187-3
 189-3
 190・191合
 併

公用

令和7年4月30日

奈良地方法務局葛城支局

附录三

請求番号: 18-4

我

●

7-982

子實年終。近江信樂(大)

仕商の武士

求積表

$0.000576 \times 0.00025 = 1.44 \times 10^{-7}$
 $0.00025 \times 0.00025 = 6.25 \times 10^{-8}$
 $0.00025 \times 0.00025 = 6.25 \times 10^{-8}$

尺 蠖

米

如

1-982

286-17

301

25-98x

95

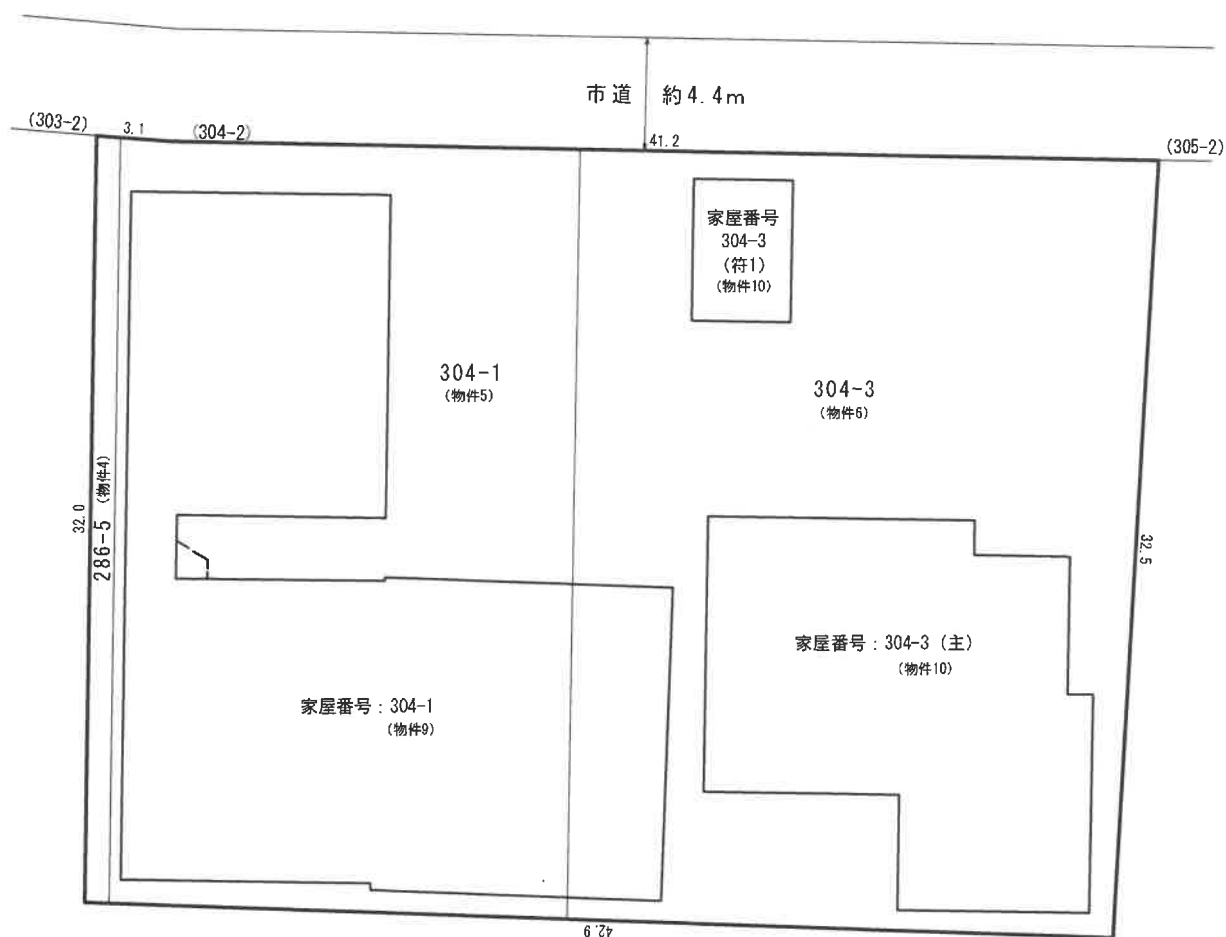
304-

307

(共五册)

土地建物位置関係図

所在 大和高田市大字市場286-5, 304-1, 304-3



※本図面は明示や立会に基づくものではなく、概測によるため専門家による実測とは異なる可能性があります。

登記年月日：昭和59年1月20日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月30日 奈良地方方法務局葛城支局

奈良地方方法務局葛城支局

登記官

图求番号: 18-6

204054

區面平階各

建各階平面圖 59.1.20

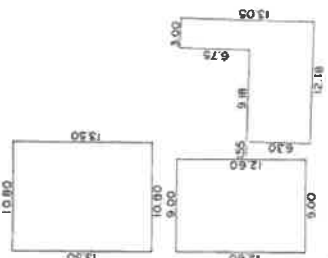
304番I

中興圖說

大和高田市大字市町304番地1・304番地3

床面横

1增


$$\begin{array}{r} 10.80 \times 13.50 = 145.8000 \\ 9.00 \times 12.60 = 113.4000 \\ 3.00 \times 6.75 = 20.2500 \\ 12.18 \times 6.30 = 76.7340 \\ \hline 356.1840 \end{array}$$

356.1840

356.18 m

床面積

2增

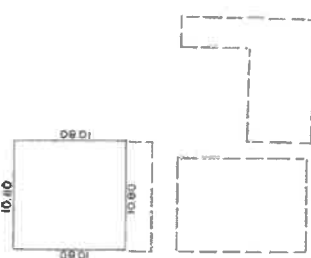

$$\begin{array}{r} 1080 \times 15.97 = 1724760 \\ 05 \times (1080 + 10.39) \\ \times 12.83 = 13593385 \\ 05 \times (1205 + 1218) \\ \times 1270 = 1538605 \\ 1218 \times 035 = 42630 \\ \hline 46653335 \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 12.18 \times 0.35 = 4.2630 \\ \hline 466.53335 \end{array}$$

466.5335

466.53 m

床面積

圖 3


$$1080 \times 1080 = 116,6400$$

116.64 m

著者

(昭和59年)

因作製)

人
類
史

正編

500

500

登記年月日：昭和60年1月14日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月30日 奈良地方方法務局葛城支局

令和7年4月30日

奈良地方方法務局葛城支局

登記官

請求番号: 18-9

204055

各階平面図

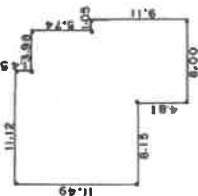
楊澤國	304
楊澤國	304

建各階平面圖

601.14

大和郡高田市大字市場 304番地 3

世



★★ 工力 火つけ ★★

11.49	X	8.15	=	93.6435
16.30	X	2.97	=	48.4110
14.85	X	3.98	=	59.1030
9.11	X	1.05	=	9.5655
		7	1	210.7230
				210.72

聖武



★★ カメセキ ★★

8.95	X	9.43	=	84.3985
9.45	X	0.08	=	0.7560
3.84	X	1.61	=	22.2824
7.60	X	3.98	=	30.2480
		Σ		137.6849
				137.68

興

三

305-3

307-2

卅

家屋番号
304番1の建物

286-5

302

306

307-1

作製者

4. 1991

09 (b)(3)

一、

申請人

氏

$$\frac{1}{500}$$

登記年月日：平成12年9月13日

公用

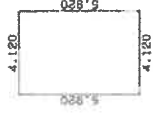
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年4月30日 奈良地方広務局 葛城支局

登記官

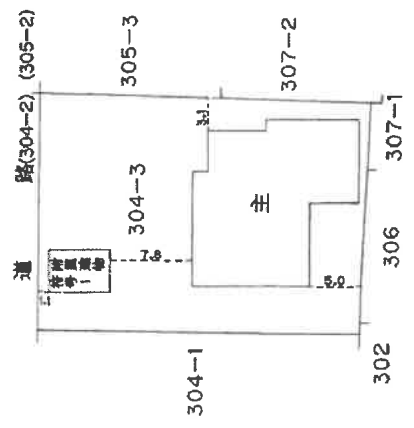
請求番号：18-7

204056		各階平面図		建物平面図	
家屋番号 304番3		建各階平面図			
建物の所在 大和高田市大字市場304番地3					
作成者		縮尺 1/250		縮尺 1/500	
(平成12年9月11日作成)					

附属建物、符号1
1階、2階各階同型



求積表
 $4.120 \times 0.2875 = 24.390400$
合計 24.390400
床面積 24.39 m²

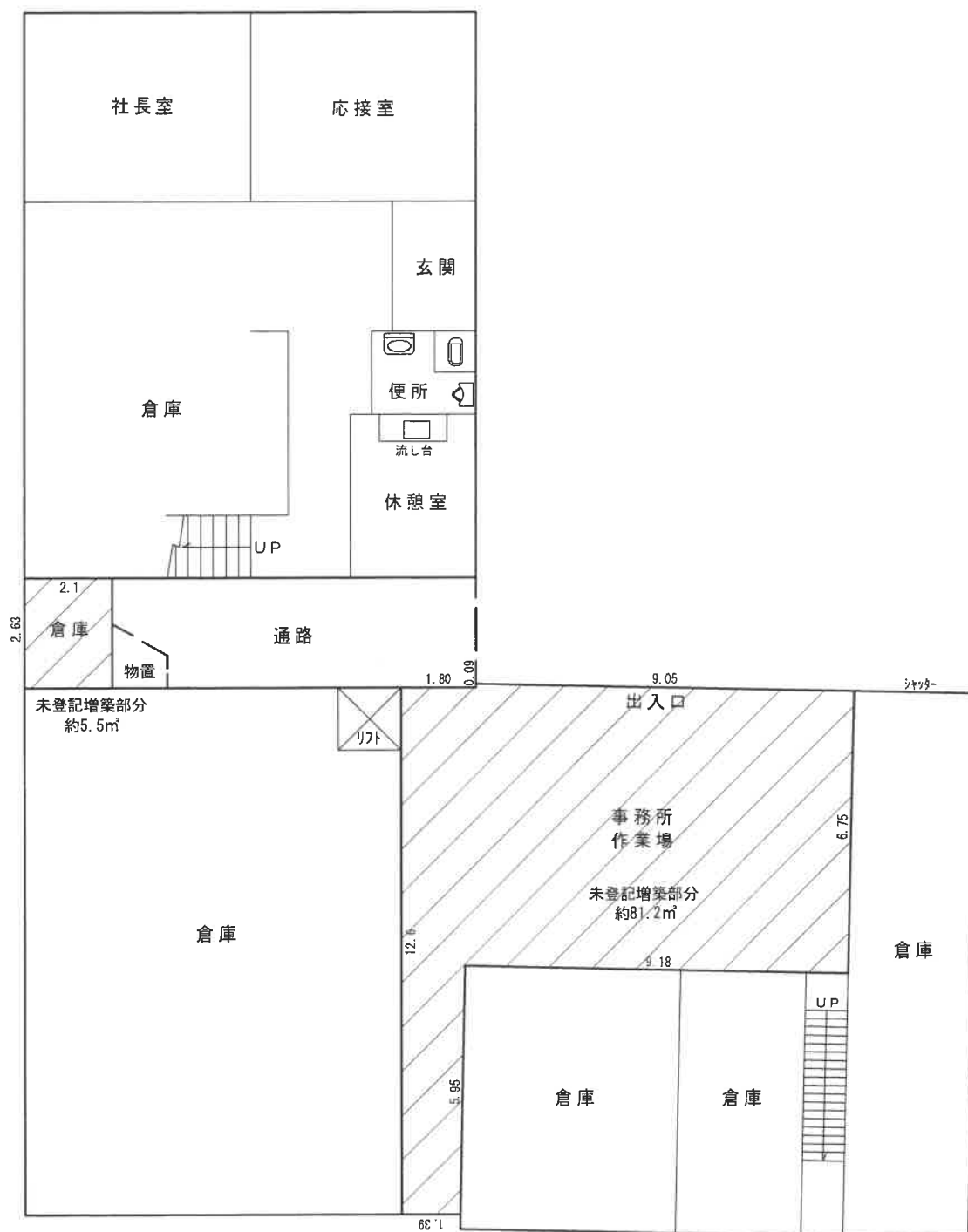


道 路(304-2) (305-2)

間 取 図

家屋番号：304-1

1 階

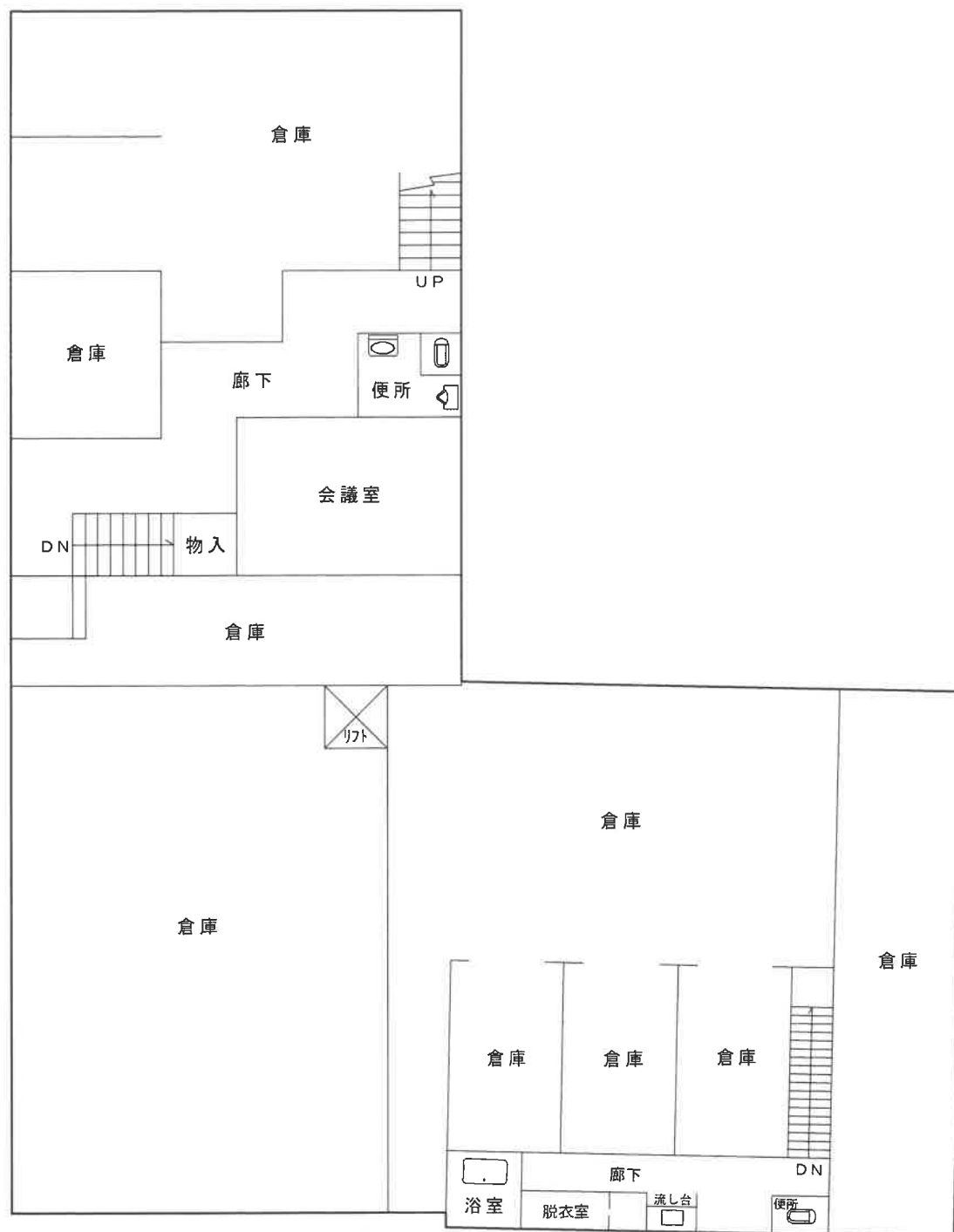


※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-1

2 階

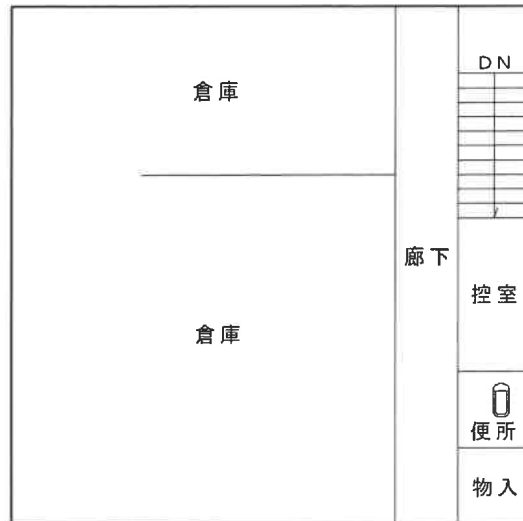


※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-1

3 階



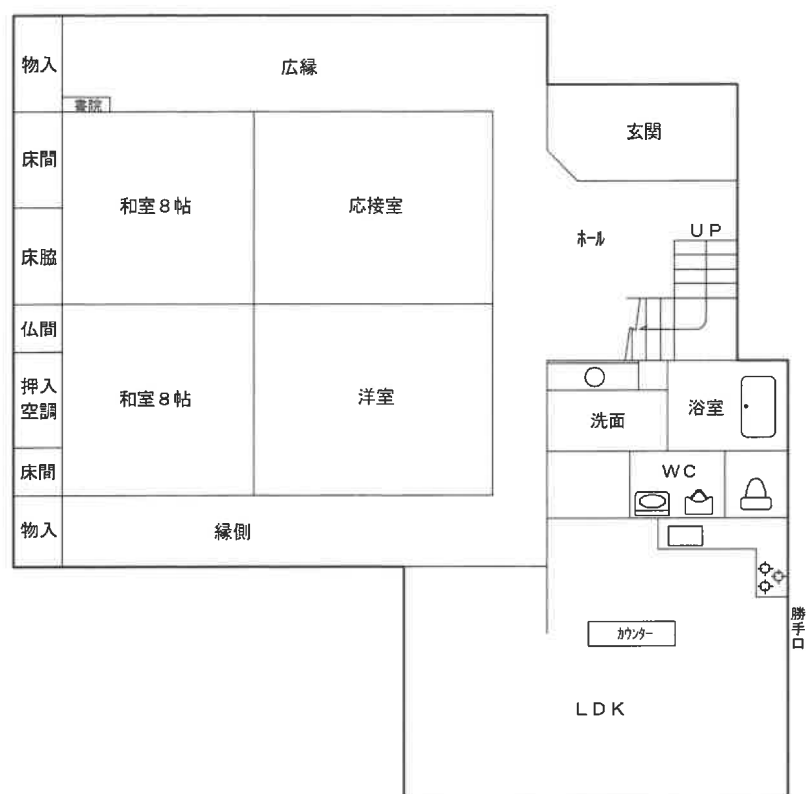
※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-3

主である建物

1 階



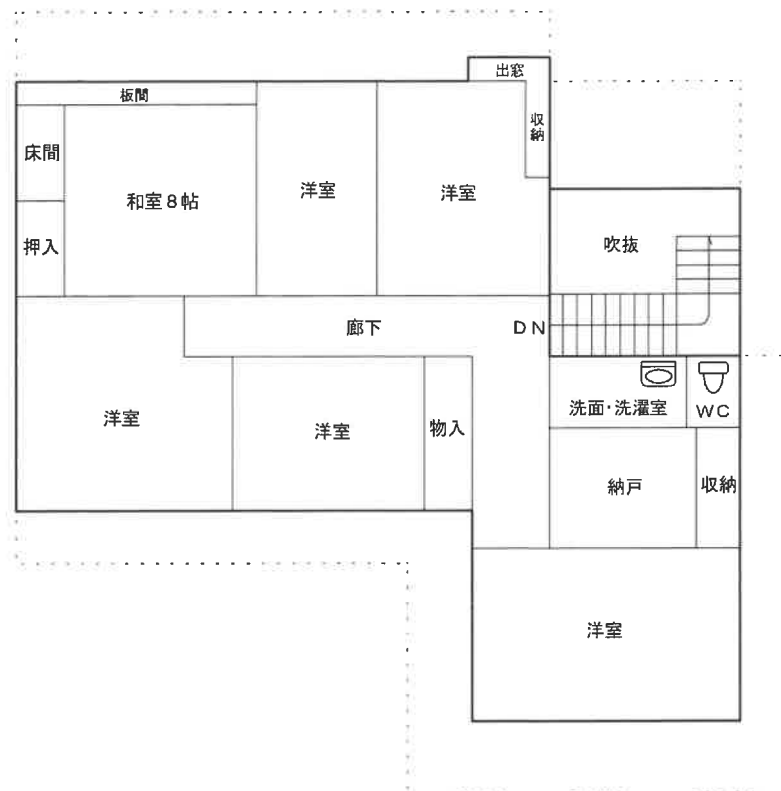
※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号：304-3

主である建物

2 階



※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。

間 取 図

家屋番号 : 304-3

附属建物 符号1

1 階



2 階



※本図面は建物間取りの概略図であり、実際のものとは異なる場合があります。